

# 第22回 青森県総合教育会議

日時：令和6年8月29日(木) 9:00～

場所：青森県庁南棟2階 第3応接室

## 次 第

1 開 会

2 知事あいさつ

3 議 事

- (1) 青森県立高等学校魅力づくり検討会議の状況について  
概要説明（高等学校教育改革推進室長）
- (2) 青森県教育改革有識者会議の状況について  
概要説明（総合政策課長）

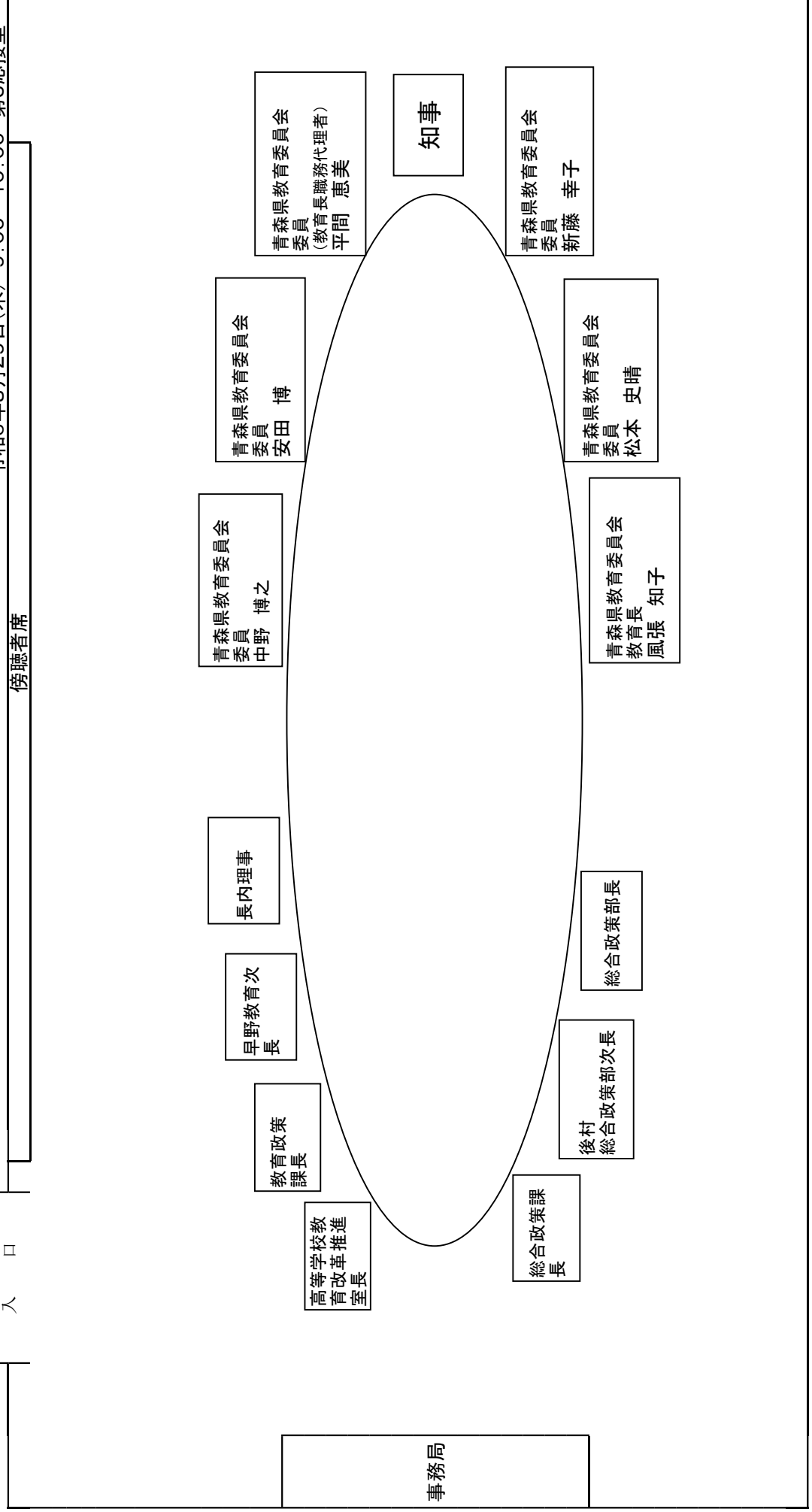
4 閉 会

# 第22回青森県総合教育会議 席図

令和16年8月29日(木) 9:00~10:00 第3応接室

傍聴者席

入口



青森県教育委員会  
委員  
(教育長職務代理者)  
平間 恵美

青森県教育委員会  
委員  
安田 博

青森県教育委員会  
委員  
中野 博之

長内理事

早野教育次長

教育政策  
課長

高等学校教育改革推進  
室長

知事

青森県教育委員会  
委員  
新藤 幸子

青森県教育委員会  
委員  
松本 史晴

青森県教育委員会  
教長  
風張 知子

総合政策部長

後村  
総合政策部次長

総合政策課  
長

事務局

## 第22回青森県総合教育会議進行シナリオ

日時 令和6年8月29日（木）9：00～

場所 県庁南棟2階 第3応接室

事 項	対応者	内 容
1 開 会 (9:00)	長 内 理 事	ただ今から、第22回青森県総合教育会議を開催いたします。開会に当たりまして、知事からご挨拶がございます。
2 知事挨拶 (9:01)	宮 下 知 事	開会に当たりまして、私から一言ご挨拶を申し上げます。 【別紙1 挨拶文により挨拶】
3 議 事 (9:03)	長 内 理 事	ここからは、着座でご説明させていただきます。 本日の議事は、「青森県立高等学校魅力づくり検討会議の状況について」と「青森県教育有識者会議の状況について」であります。 まず、「青森県立高等学校魅力づくり検討会議の状況について」概要を御説明いたします。
	高等学校教育 改革推進室長	青森県立高等学校魅力づくり検討会議の状況について 【資料1に基づき説明：10分間程度】
	長 内 理 事	つづきまして、「青森県立高等学校魅力づくり検討会議の状況について」概要を御説明いたします。
	総合政策課長	青森県教育改革有識者会議の状況について 【資料2に基づき説明：10分間程度】
(9:23)	長 内 理 事	それでは、ただ今の内容を踏まえ、意見交換を行いたいと思います。

		<p>【フリーディスカッション】</p> <p>※発言がない場合は、平間委員、新藤委員、安田委員、松本委員、中野委員に発言を促す。</p>
(9:55)	長内理事	最後に、教育長と知事から一言お願いいたします。まず、教育長からお願いします。
	風張教育長	<p>【発言趣旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日御説明した内容に関して、各教育委員から様々な御意見がありました。</li> <li>・今後の魅力づくり会議においても子どもたちを取り巻く環境の変化を見据えつつ、青森県立高等学校の魅力が周知され、「青森で学べて日本一幸せ」と思える人が1人でも多くなるよう、本県教育の充実・発展に向けて取り組んで参ります。</li> </ul>
	長内理事	それでは、知事からお願いします。
	宮下知事	<p>【発言趣旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会の説明を聴き、魅力づくり会議における現状について理解し、今後も慎重に検討を進めていただきたいと感じました。</li> <li>・本県の未来を担う子どもたちのために有識者会議と魅力づくり会議が同じ方向を向いていることに安心しております。</li> <li>・今後も教育委員会と綿密に連携し、教育施策を総合的に推進して参ります。</li> </ul>
4 閉会 (10:00)	長内理事	それでは、これをもちまして、「第22回青森県総合教育会議」を終了いたします。

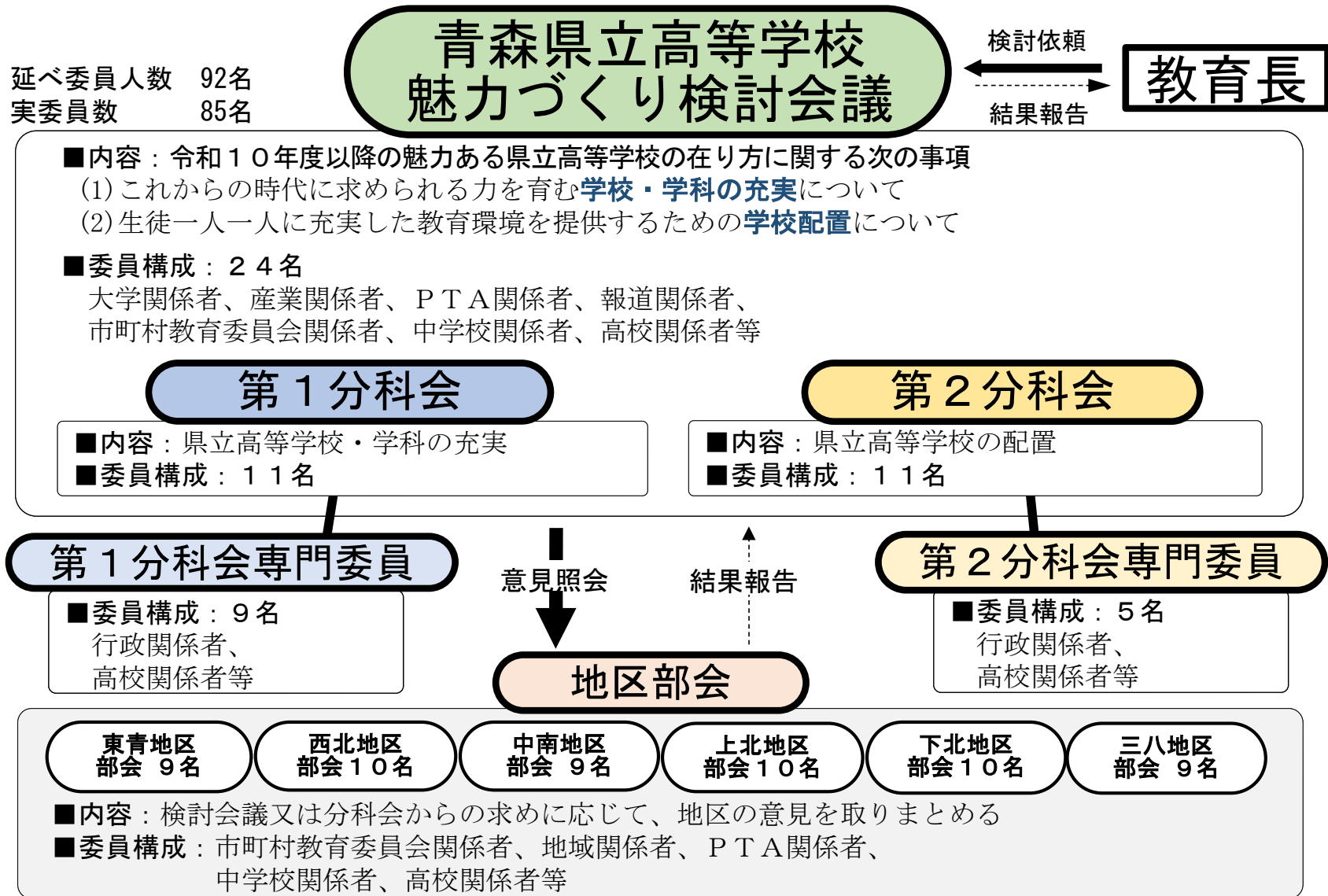
※ぶら下がりなし

# 青森県立高等学校魅力づくり検討会議 における検討状況について

令和6年8月29日  
教育庁高等学校教育改革推進室

# 1 青森県立高等学校魅力づくり検討会議の状況

令和10年度以降の魅力ある県立高等学校づくりに向け、青森県立高等学校魅力づくり検討会議において検討を進めているところ。



## 2 魅力づくり会議における検討状況

### (1) 魅力ある高等学校づくりに向けた基本的な考え方

本県の子どもたちが、変化し続ける社会に対応するために必要となる力を身に付け、未来を切り拓き、豊かな人生を送るとともに持続可能な社会の創り手となることができるよう、学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための「魅力ある高等学校づくり」を更に推進し、子どもたちのウェルビーイングの向上を目指す。

これからの時代に求められる力の育成

これからの時代に求められる力を身に付けた人財の育成

高等学校に求められること

## 2 魅力づくり会議における検討状況

(1) - ①これからの時代に求められる力、②これからの時代に求められる力を身に付けた人財

### これからの時代に求められる力

#### 不易な力

知・徳・体の調和の取れた生きる力

主体性、コミュニケーション能力

自己肯定感、多様性を尊重する心、  
地域・郷土を愛する心



#### 子どもたちの夢や志に応じた力

課題発見・解決する力、地域を支える心  
大志を抱き世界へ挑戦する心、  
主体的に未来社会を切り拓く力

#### 変化の激しい社会で求められる力

変化に対応するための柔軟な思考力、  
新たな時代をつくる力

### これからの時代に求められる力を身に付けた人財

青森県や地域の発展に  
貢献できる人財

イノベーションを創出する  
志や創造性を持った社会を  
牽引できる人財

職業の多様化に対応で  
きる人財

...

### これからの時代に求められる力

不易な力

子どもたちに夢や志に応じた力

変化の激しい社会で求められる力



## 2 魅力づくり会議における検討状況

### (1) - ③高等学校に求められること

#### 高等学校に求められること

生まれた場所や家庭環境にかかわらず、全ての子どもたちに一定の水準を満たした教育や、誰一人取り残さないきめ細かな教育を提供するため、ウェルビーイングの実現を目指した魅力ある学校づくりを推進。

全ての子どもたちが安心して学べる教育の提供

スクール・ミッション等を踏まえた各校の特色を生かすとともに、高校間や学科間の連携のほか、小・中学校、特別支援学校、大学、地域、関係機関等の多様な主体等と連携・協働し、授業や特別活動、部活動、地域活動等の教育活動全体で更なる魅力づくり

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業改善等のカリキュラム・マネジメントの適切な実施や、探究的な学び、学科横断的な学び、STEAM教育など教育活動の充実による学校・学科の魅力づくり

学校・学科の更なる魅力づくりに向けた教育制度等の充実

## 2 魅力づくり会議における検討状況

### (2) 学校・学科の充実の方向性 - ①高等学校の魅力づくり

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実や、誰一人取り残さないきめ細かな教育につなげていくため、教育活動の更なる充実を図るとともに、各校の教育活動の深化に向けた多様な主体との連携を推進。

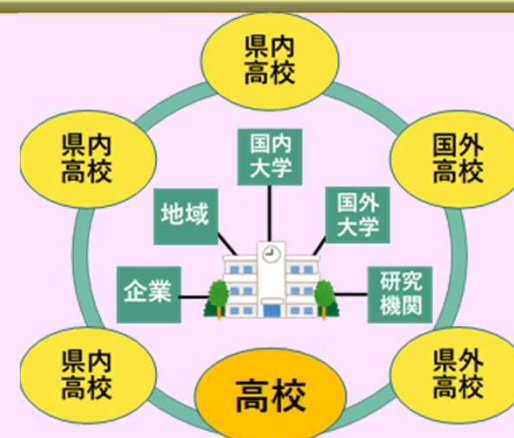
#### 教育活動の更なる充実

- ・ 各校の特色を生かした取組の推進  
(本県の課題解決に関するプロジェクト)
- ・ ICTの活用による教育活動の充実  
(対面とオンラインの効果的な活用)
- ・ 特別な支援を要する生徒への教育の充実



#### 多様な主体との連携・協働

- ・ 高校間・学科間の連携  
(各校の主体的な連携)
- ・ 小・中学校との連携  
(コミュニティ・スクールの活用)
- ・ 大学等との連携  
(遠隔教育や学外の学修の単位認定)
- ・ 地域や関係機関等との連携



## 2 魅力づくり会議における検討状況

### (2) - ②学科等の魅力づくり

進路志望の多様化や時代・教育環境の変化等に対応するため、知識・技術の刷新や土台となる基礎的・基本的な知識・技術の習得に加え、新たな時代を見据えた学科改編・新設の検討や生徒の学習意欲向上の一体的な実施により各学科の魅力づくりを推進。

#### 全日制課程

- ・ 普通科等  
(各校の強みを生かした特色化)
- ・ 職業教育を主とする専門学科  
(地域や関係機関等と連携した実践的な学び)
- ・ 総合学科  
(多様な教育課程の編成等による特色化)

#### 定時制・通信制課程

- ・ 多様な学びの提供  
(多様な学びができる教育課程の編成・発信)
- ・ 生徒一人一人へのきめ細かな指導の充実  
(専門知識を身に付けた教員の育成、スクールソーシャルワーカー等による支援体制)
- ・ 関係機関等との連携  
(県や企業、他校などと連携したキャリア教育)

## 2 魅力づくり会議における検討状況

### (2) - ③学校・学科等の魅力づくりに向けた教育制度

生徒の多様なニーズを踏まえるとともに、生徒数の減少も見据えながら効果的な教育制度の活用を検討。

#### 中高一貫教育、全日制普通科単位制、総合選択制等

- 既導入校における教育活動の充実
- 取組状況を踏まえた他校における導入の在り方の検討

「多様な学び」を提供するための学科の充実や、主体的・協働的に学ぶ意欲を喚起するための「多様な学び方」を提供できる学校の充実、効果的な教育制度の活用の一体的実施により、生徒それぞれが、自らの夢や志に応じて成長できる「魅力ある高等学校づくり」を進める。



## 2 魅力づくり会議における検討状況

### (2) 学校配置の方向性 - ① 魅力ある高等学校づくりに向けた学校配置の観点

- ・ こどもの数が減少している中、全ての子どもたちに一定水準を満たした教育を提供することによるウェルビーイングの実現と、誰一人取り残さないきめ細かな教育を提供。
- ・ こどもたちがこれからの時代に求められる力を身に付け、可能性及び能力を最大限に伸長することができる教育環境を提供。

#### 高等学校教育を受ける機会の確保

- ・ 全ての生徒が夢や志に応じて高校を選択できる環境づくり
- ・ 地域と一体となった人財育成が進められてきたことを踏まえた学校配置
- ・ 地理的要因や家庭環境等により高校進学に支障が生じないような通学環境への配慮

#### 充実した教育環境の整備

- ・ 高校に求められる教育活動の更なる充実に向けた教育環境の提供
- ・ 様々な事情を抱えた生徒の多様な教育的ニーズへの対応
- ・ 高校間連携や地域等との連携の更なる推進による高校教育の質の確保

## 2 魅力づくり会議における検討状況

### (2) - ②魅力ある高等学校づくりに向けた学校配置

学校配置の観点を考慮し、高校を取り巻く環境の変化を見据えながら、中・長期的な視点で県立学校全体の在り方を検討。

#### 全日制課程

- ・教育機会確保や通学環境等を考慮し、6地区ごとの学校配置の継続・見直し
- ・教育の質の確保、学校や地域等の実情、規模別の課題、こどもの数の減少等を考慮し、学校規模の標準の在り方を検討
- ・入学状況や中学校卒業予定者数の推移、他校への影響、多様な生徒との関わりの中での学び等を考慮し、小規模校の配置の在り方を検討
- ・教育の機会や通学環境、教育の質の確保等を考慮し、地域校制度の在り方を検討
- ・多様な主体との連携・協働やICTの効果的な活用等による小規模校（地域校）における教育環境の充実

#### 定時制課程・通信制課程

- ・様々な事情を抱えた生徒に対応するための、現状の配置の継続、募集人員見直し検討
- ・入学者数の増加を踏まえた課程の拡充の検討、全日制課程と合わせた配置の検討

## 2 魅力づくり会議における検討状況 (2) - ③学校配置と合わせて検討すべき事項

- ・本県の産業構造を踏まえ、生徒の進路志望の多様化や高校教育を取り巻く環境の変化を見据えた**再編の方法、学級編制、通学手段の確保・通学支援**を検討。
- ・魅力ある高校づくりの検討・実施に当たっては、**地域等から理解と協力を得られるよう**取り組む。

### 再編の方法等

- ・教育的効果を踏まえた**学科の統合、異なる学科の高校の統合**
- ・新たな時代を見据えた**学びの提供に向けた学科の改編・新設等の統合以外の方策の検討**

### 学級編制

- ・現状よりも少ない人数での**学級編制**や、**他校への拡充**を実施
- ・各校の特色に応じた**学級編制**や、**学校規模と一体的な検討、全校一律ではなく段階的な実施**も検討

### 通学手段の確保・通学支援

- ・市町村や交通事業者の協力を得ながら、**公共交通機関の利便性向上、スクールバスの運行や寮整備、通学費や下宿代等の補助**などの対応を検討

### 地域等から理解と協力を得る取組

- ・これまでと同様の方法で**計画策定等**
- ・**地域の理解を得られるスケジュールでの意見交換の実施**
- ・統合する場合、**統合校の開設に当たっては、計画策定から一貫性を持って対応**

### 3 魅力づくり会議における今後の検討スケジュール

F \* " & " & ,

F \* " - " &

F \* " F + " &

R7.2

**検討結果報告書の作成  
検討会議より県教育長へ報告書を提出**





こども  
まんなか青森

資料 2

# 青森県教育改革有識者会議 の状況について

令和 6 年 8 月 2 9 日

青森県総合政策部総合政策課

# ＜参考＞青森県教育改革有識者会議委員一覧

## 常任委員

委員名	所属等	役職
大谷真樹（おおたにまさき）	知事参与、インフィニティ国際学院学院長	議長
森万喜子（もりまさこ）	元北海道公立中学校長	副議長
合田哲雄（ごうだてつお）	文化庁次長	顧問
三戸延聖（さんのへのふまさ）	弘前大学教育学部教職実践専攻・教職大学院教授	
日野田直彦（ひのだなおひこ）	一般財団 活育財団 代表理事	
平井聡一郎（ひらいそういちろう）	合同会社未来教育デザイン代表社員	
藤岡慎二（ふじおかしんじ）	産業能率大学経営学部教授、(株) Prima Pinguino代表取締役	
森山達央（もりやまたつお）	株式会社スパイスアップ・アカデミア代表取締役	

## 特別委員

委員名	所属等
生重幸恵（いくしげゆきえ）	特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク理事長
江川和弥（えがわかずや）	フリースクール全国ネットワーク代表理事
木村泰子（きむらやすこ）	大阪市立大空小学校初代校長
讃井康智（さぬいやすとも）	ライフイズテック株式会社取締役、最高AI教育責任者（CEAIO）
澤田真由美（さわだまゆみ）	株式会社先生の幸せ研究所代表取締役
島康子（しまやすこ）	Yプロジェクト株式会社代表取締役
陳内裕樹（じないひろき）	内閣府クールジャパンプロデューサー、東北芸術工科大学客員教授、日本薬科大学特別招聘教授
住田昌治（すみたまさはる）	学校法人湘南学園学園長
橋本大也（はしもとだいや）	デジタルハリウッド大学教授
本間正人（ほんままさと）	京都芸術大学・社会構想大学院大学客員教授、NPO学習学協会代表理事

# 本年度議論する論点 – 令和5年度提言より抜粋 –

## 1. 県立高校における入試制度の在り方

- 青森県のめざす教育に合わせた県立高校における入試制度の在り方の再検討
- 本来教育課程外の部活動の記載欄や生徒の出欠日数欄等といった、調査書（内申書）の記載内容の大幅な見直し

## 2. 人口減少下における学校統廃合を含めた県立学校の在り方

- こどもの数が減少する中での学校統廃合など、これからの県立学校の在り方の検討
- こどもの学びの質を保障するための複数校でのオンライン授業やデジタル教材等の活用推進
- 個別最適な学び、グローバル化に対する取組、青森県の特徴を生かした探究学習、実業系高校のカリキュラムマネジメントなど、めざす教育のフラッグシップモデル校の指定を進め、各校の特色化促進
- 県立中高一貫校の地方における教育効果など、他県の事例研究の推進（例：広島県立広島叡智学園中学校・高等学校、東京都立立川国際中等教育学校・附属小）

## 3. 小・中・高・特別支援における授業の在り方

- 教職員と子どもたちとの対話や子どもたちが互いに学び合うといった主体的な学びが実現できるような授業の在り方の検討
- イエナプラン教育\*の導入など異学年融合型の年齢集団に縛られないカリキュラムの検討や全国でオリジナリティを発揮しているカリキュラムの事例研究の推進

\*イエナプラン教育：ドイツで始まりオランダで広がった、一人ひとりを尊重しながら自律と共生を学ぶオープンモデルの教育のこと。

## 青森県教育改革有識者会議の開催経過等（令和6年度）

- 青森県教育改革有識者会議では、今年度議論する3つのテーマを中心に、委員による講演や会議での議論を行っている。第2回会議では、青森県立高等学校魅力づくり検討会議事務局から、「青森県立高等学校魅力づくり検討会議」の検討状況等についてご報告いただいた。
- また、県内外の事例の収集や、教職員及び子どもを対象としたアンケートも実施。
- 会議はこれまで7回開催し、現在は、アンケートの分析作業を進めているところ。今後も引き続き、事例調査やアンケート結果等も十分に踏まえながら、知事への提言に向けて、会議での議論を深めていく。

### 会議

- 第1回 4月10日（水）令和6年度の議論のテーマ及びスケジュール等に係る意見交換
- 第2回 4月22日（月）報告「青森県立高等学校魅力づくり検討会議」の検討状況等について  
（青森県立高等学校魅力づくり検討会議事務局）  
講演「教育の魅力化による地域の活性化～全国に広がる高校魅力化プロジェクト～」  
（藤岡慎二（株）Prima Pinguino代表取締役）
- 第3回 5月27日（月）北海道視察等に係る報告及び意見交換
- 第4回 6月10日（月）講演「子どもの事実から人権を視点に学校づくりを問う」  
（木村泰子 大阪市立大空小学校初代校長）
- 第5回 7月 2日（火）提言の方向性についての意見交換
- 第6回 7月22日（月）講演「AIネイティブな子どもたちの可能性を伸ばす教育とは」  
（讚井康智 ライフイズテック株式会社取締役 最高AI教育責任者）
- 第7回 8月 9日（金）講演「○○○○～～～」  
（本間正人 京都芸術大学・社会構想大学院大学客員教授）

# 青森県教育改革有識者会議の開催経過等（令和6年度）

## 県内外の事例収集

- 高校の魅力化  
北海道大空高校、北海道三笠高校
- 公立の小中高一貫校  
東京都立立川国際中等教育学校・附属小学校
- 学びの多様化学校（不登校特例校）、イェナプラン認定校  
学校法人ろりぽっぷ学園ろりぽっぷ小学校
- 教育DX  
中泊町薄市小学校…メタバースを活用した英語教育  
五所川原市立五所川原小学校…1人1台端末を活用した授業、校務DX

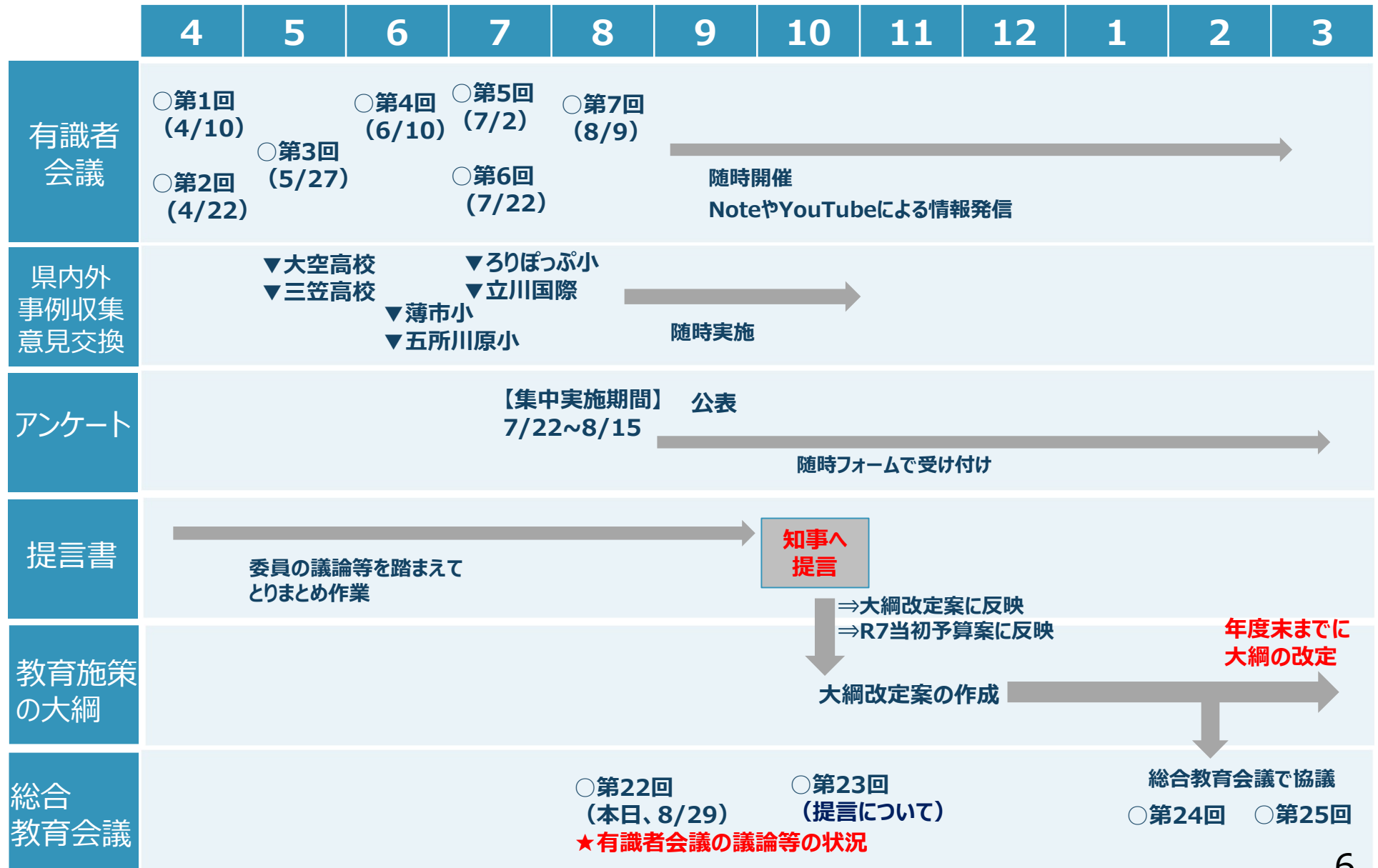
## 青森県の教育に関するアンケート

- ・集中実施期間：7月22日（月）～8月15日（木）  
※8月16日以降も回答可
- ・対象：県内の小・中・高等学校・特別支援学校に在籍する ①教職員 ②小学校5年生～高校3年生
- ・主な調査項目：
  - ①教職員 昨年度と比較した業務改善の実感の有無、学校内の心理的安全性、地域との連携、授業の在り方・入試制度の在り方・県立学校の在り方についての考え
  - ②児童生徒 学校が楽しいかどうかとその理由、心理的負担やストレスになっていること、授業について、学校生活の中で嬉しいと感じる時、自由に学校をつくれるとしたらどんな学校をつくりたいか
- ・回答についてはAIテキストマイニングを活用し、分類・分析を行っているところ。結果は9月に公表予定。  
(回答数 ①教職員： 名、 ②児童生徒： 名)

# 青森県教育改革有識者会議スケジュール

令和6年度

(月)



## 知事あいさつ (案)

- 開会に当たり、私から一言御挨拶を申し上げます。
  
- 総合教育会議の開催の趣旨は、教育の振興を図るため重点的に講ずべき施策について教育委員会と共有・議論すること。
  
- 今年度、青森県教育改革有識者会議において、
  - ①県立高校における入試制度の在り方について
  - ②人口減少下における学校統廃合を含めた県立学校の在り方について
  - ③小・中・高・特別支援学校における授業の在り方についての3点について検討が進められているところ。
- また、教育長が設置した青森県立高等学校魅力づくり検討会議において、昨年度から「学校・学科の充実」と「学校配置」の方向性について、検討が進められていると伺っている。
  
- 特に、人口減少下における学校統廃合を含めた県立学校の在り方については、両会議において、それぞれの強みや視点を生かしながら検討が進められていくことが大事であると考えている。
  
- 今後、有識者会議における検討内容や提言を踏まえ、教育大綱の改定を進めることとなることから、本日の会議では、現時点の両会議の検討状況について情報共有したい。